

加齢口腔生理学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Hashimoto A, Fujiki S, Nakamura W, Nakamura TJ. Effects of testosterone on circadian rhythmicity in old mice. The Journal of Physiological Sciences JPS. 69(5): 791-798. 2019 (IF: 3.341) (査読あり)
2. Hirata Y, Enoki R, Kuribayashi-Shigetomi K, Oda Y, Honma S, Honma K. Circadian rhythms in Per1, PER2 and Ca²⁺ of a solitary SCN neuron cultured on a microisland. Scientific Reports. 9(1):18271. 2019 (IF: 4.525) (査読あり)

B-b

1. 中村渉, 高須奈々: 生体リズムを制御する体内時計機構 ～From the Discovery to Innovations～. 小児歯科臨床 (東京臨床出版), 24(11): 26-35, 2019 (査読なし)

B-c

1. 中村渉: 概日リズム. 標準生理学 (第9版) (医学書院), 924-932, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	5	2	3	4

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
織田善晃・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 高速カルシウム計測による視交叉上核神経回路の機能的構造解析
高須奈々 ・特任研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 就寝・起床のタイミングが生体リズムの内的同調及び性周期に及ぼす影響
高須奈々 ・特任研究員	内藤記念科学振興財団	代表	女性研究者研究助成 性周期不整の一因となる体内時計神経回路の解明
中村渉・教授	テルモ生命科学芸術財団	代表	予防医療・健康寿命研究助成 加齢に伴うサーカディアンリズム機能低下メカニズムの解明
中村渉・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 加齢に伴うサーカディアンリズム機能減弱機構の解明